

## 1. 投稿原稿

原稿の書式（文字の大きさ、フォントの種類等）は所定の「執筆テンプレート（<https://www.jrias.or.jp/books/cat/radioisotopes.html>）」に従う。

### 1) 表題ページ（1頁目）

論文のタイトル、すべての著者の氏名と所属のフルネームを記載する。著者に複数の所属がある場合、著者名の右肩にイタリック体の上付き文字1, 2, 3…を付して示す。その下に責任著者のメールアドレスを記載する。ダガー(†)は、責任著者の氏名の右肩に記述する。英文投稿の場合も和文の表題、著者名、所属、要旨等を併せて提出する。ただし、著者全員が日本語を母語としない場合については、これを適用しない。

### 2) 要旨（2頁目）

投稿言語で200 wordsあるいは200文字以内とするが、和文と英文要旨の内容を一致させるために規定の字数を超過してもよい。英文要旨はネイティブ、あるいはそれに準ずる人のチェックを受ける必要がある。本文中で定義した記号、略語などは改めて定義する。

### 3) キーワード（2頁目）

論文の内容を的確に表現する5語程度の単語もしくは句を選び、小文字で表記する。英語で名詞単数形とし、原則として、略語、記号、元素記号は用いない。できるだけ限定された意味をもつ語又は句を選ぶ。略語をキーワードとして用いる場合はスペルアウトして略語が示す単語を明確にする。

例：radiotherapy, targeted alpha therapy (TAT), cobalt-60, Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident

### 4) その他

表題、要旨、キーワードには、宣伝に類する語句を入れてはならない。表題、キーワードは論文審査終了後の編集委員会にて修正を求めることがある。

## 2. 本文

1) テンプレート3頁目から記載する。最初に「はじめに」、次に「方法」、「結果」、および「考察」（英文投稿の場合は“Introduction”, “Materials and Methods”, “Results”および“Discussion”）などを適切に項目立てる。これら項目に続き、著者情報、謝辞、引用文献の順に記載する。

2) 和文原稿は文化庁の「公用文の書き表し方の基準（資料集）」により、ひらがな交じり口語体と

する。用語はJIS用語及び各学会制定の用語を用い、翻訳不能の学術語、日本語化しない固有名詞に限り原語のまま用いる。

3) 数字はアラビア数字を用いる。年号は西暦で統一する。

4) 英文原稿の場合、行末の単語にハイフンを使用せず、必ずワードラップを行う。

5) 本文の大見出し、中見出し、小見出しはpoint systemとし、1., 1・1, 1・1・1, …などと書く。

6) 単位はSI単位を使用し、記号は国際単位系で指定されているものを使用する。例えばCi, rad, remは使用せず、それぞれBq, Gy, Svを使用する。

7) 化合物の命名法はIUPACの命名規則、Chemical Abstractsの索引、あるいはRing Indexの命名法のいずれかに準ずる。また命名法のスタイルは論文内で統一する。

8) 核種の質量数は<sup>60</sup>Co, <sup>131</sup>Iのように元素記号の左肩につけた表記法を用いる。

9) 一般的でない略語を使用する場合は、最初に説明をつける。それぞれの初出時にスペルアウトし、直後に括弧( )内で略語を示し、以下略語のみを用いる。日本語表記がある場合は、「日本語（スペルアウト；略語）」とする。

10) 引用文献は番号に片かっこをつけ、本文の右肩につける。

11) 文献でない備考、注などは、\*\*\*を右肩につけ、原稿の下部に脚注をつける。

## 3. 図・表

1) 図、表は、原則としてそのまま画像データとして使用できるように著者が作成する。線の太さ、文字の大きさ及び図の複雑さをよく考慮する。必要があれば、図表は横長に作成してもよい。

2) 表の後に図を配置し、出現する順にアラビア数字で番号を付け、図のタイトルと説明（Figure Legends）はそれぞれの図の下に記載する。図、表の挿入箇所を原稿中に指定する。

3) 図、表の説明は、原則として英文で書く（和文の「資料」を除く）。和文で書かれた論文であっても図、表のタイトルと説明文は英文で記載する。

4) 本文中で図、表を示す際に、図は“Fig. XX”，文頭では“Figure XX”，表は“Table XX”と表記する。

5) 表は画像として貼り付けず、MS-Word ファイルの「テーブル」機能かMS-Excel等を使用し、本文中に組み込まず、別ファイルのPDFファイル

としてまとめて提出する。

- 6) 写真は図の作成・記載に準ずる。

#### 4. 文献

- 1) 文献は登場順に従って（図および表の参照も含む）、文献に連続した番号を付し、右肩上付き文字で、句読点の前、または関連する単語の後に、右片括弧付きのアラビア数字で示す。書誌情報は原稿の最後に一括記載する。
- 2) 雑誌掲載論文、書籍、Webサイト等で公開されている文献または資料を用いる。著者が5人以上いる場合は4人目までを記載し5人目以降は日本語の場合は「他」、英語の場合は“et al.”で省略することができる。ページ数は最初と最後のページをハイフンで結んで示す。ページ表記の無い雑誌論文の場合は、論文番号を記載する。

(例)[雑誌] 著者名, タイトル, 雑誌名, 巻数, ページ (西暦発行年), DOI (任意)

- 1) Yasushi Sato, Hidetake Ishizu, Takahiro Yamada, Standardization of  $^{14}\text{C}$  by CIEMAT-NIST Method and TDCR Method, *RADIOISOTOPES*, **65**, 1–5 (2016), doi: 10.3769/radioisotopes.65.1

(例)[書籍] 著者名, 書名, ページ, 発行所, 発行地 (西暦発行年)

- 1) Carroll, J. and Lerche, I., *Sedimentary Processes: Quantification Using Radionuclides*, pp. 72–75, Elsevier Science, Oxford (2003)

(例)[Webサイト] 著者名等, 表題, URL, access年月日

- 1) 平成28年度新学術領域研究（研究領域提案型）「学術研究支援基盤形成」リソース支援プログラム：短寿命RI供給プラットフォーム, <https://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/~ripf/> (accessed April 1, 2021)

# RADIOISOTOPES 誌 論文奨励賞規定

2019年12月25日一部改定

## 1. 名 称

「RADIOISOTOPES 誌 論文奨励賞」(英文表記「RADIOISOTOPES Research Promotion Award for Young Scientists」)

## 2. 目 的

アイソトープ・放射線に係わる研究活動が、順調に世代に引き継がれていくことはきわめて重要なことである。人材の発掘・育成のためにも、研究活動に参加しつつある若手研究者に、その研究の推進を支援していくために、励ましともなる活動の一環として、「RADIOISOTOPES 誌」投稿論文に対し奨励賞を贈り、表彰する。

## 3. 対象論文

RADIOISOTOPES 誌の掲載区分のうち「原著」、「ノート」、「速報」に投稿し、表彰年度の前年度(4月号から翌年3月号)に掲載された論文。

## 4. 応募資格

論文の筆頭著者であり、論文受付日において36歳未満の者。ただし、本賞受賞歴がある者を除く。

## 5. 応募方法

投稿に際しての自薦もしくは他薦とする。論文掲載後、申請書類の提出をもって本賞に応募したものとする。

## 6. 選 考

受賞候補者の選考はRADIOISOTOPES編集委員会が行い、当協会会長が決定する。

## 7. 表 彰

表彰は「アイソトープ・放射線研究発表会」において行う。受賞者には、会長名の賞状を授与するとともに記念品を贈呈する。

## 8. その他

本賞の実施に関する詳細は、別に定める細則による。

## 問合せ先

RADIOISOTOPES 編集委員会 事務局  
〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45  
日本アイソトープ協会 学術課  
TEL 03-5395-8035 FAX 03-5395-8053  
E-mail: radioisotopes@jrias.or.jp